

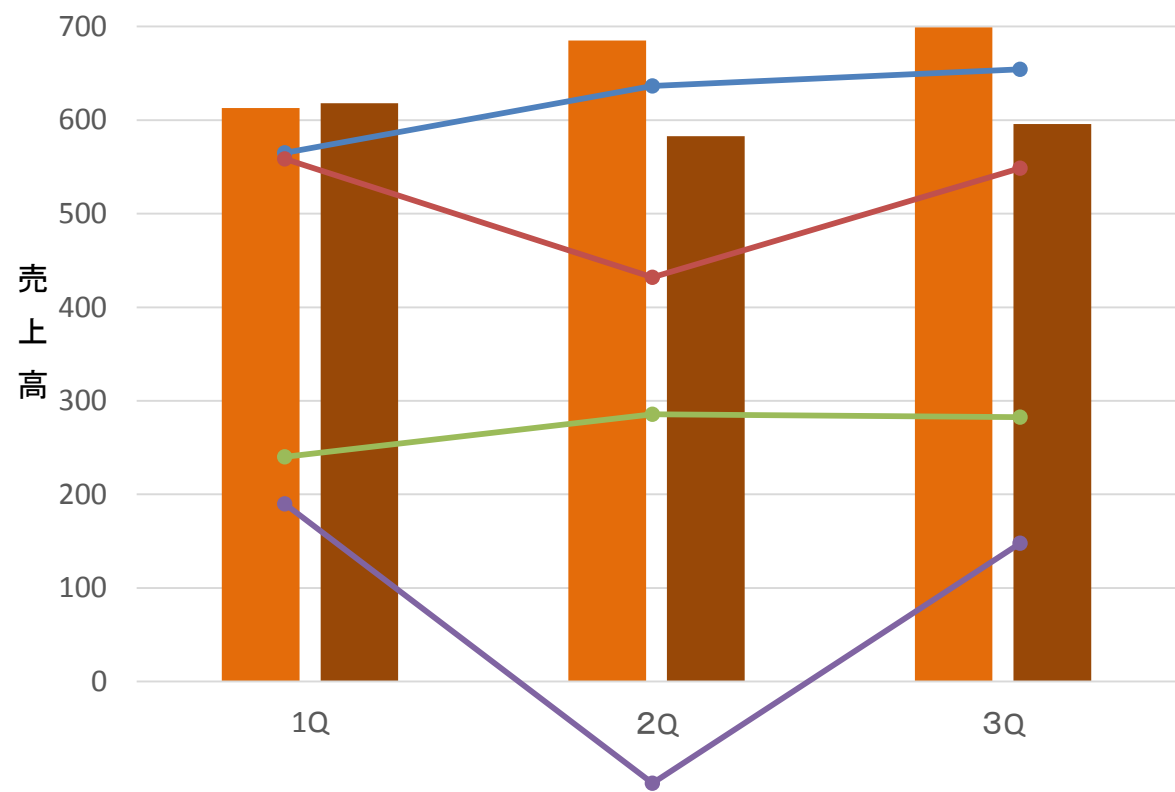
地盤ネットホールディングス 連結決算補足説明資料

平成28年3月期 第3四半期

※百万円未満切捨で表示

売上高・売上総利益・営業利益は回復傾向

	前1Q	当1Q	増減	前2Q	当2Q	増減	前3Q	当3Q	増減
売上高	613	618	5	685	583	△101	699	596	△103
売上総利益	332	328	△3	376	250	△126	387	323	△64
営業利益	132	101	△31	160	△83	△244	158	75	△83



当3Q期間は当2Q期間から売上増加となり、外注単価見直しによる売上総利益の回復、売掛金管理プロセス整備による貸倒引当金積増し抑制・取崩しで営業利益が回復。

- 前期売上高
- 当期売上高
- 前期売上総利益
- 当期売上総利益
- 前期営業利益
- 当期営業利益

保守的な会計処理により健全な財務体質へ

	平成27年3月期 期末		平成28年3月期 第3四半期		
	実績	構成比(%)	実績	構成比(%)	増減額
資産の部	1,814	100.0	1,740	100.0	△73
流動資産	1,611	88.8	1,562	89.7	△49
(現金及び預金)	537	29.6	785	45.1	+248
(受取手形及び売掛金)	680	37.5	462	26.6	△218
固定資産	202	11.2	178	10.3	△24
負債の部	391	21.6	339	19.5	△52
流動負債	338	18.7	265	15.3	△73
固定負債	52	2.9	73	4.3	+21
純資産の部	1,422	78.4	1,401	80.5	△21
株主資本	1,412	77.9	1,389	79.8	△23
(資本金)	490	27.0	490	28.2	—
(資本剰余金)	18	1.0	18	1.1	—
(利益剰余金)	903	49.8	880	50.6	△23
その他の包括利益累計額	1	0.1	1	0.1	0
新株予約権	8	0.5	10	0.6	+2

長期滞留債権精査・回収実施により売掛金が減少し現預金増加

外注費の見直しによる買掛金減少と未払法人税等の減少

2016年3月期業績予想

※百万円未満切捨で表示

	平成28年3月期 第3四半期		平成28年3月期 通期		
	実績	前期比(%)	予想	前期比(%)	進捗率(%)
売上高	1,798	△10.0	2,450	△3.6	73.4
営業利益	92	△79.5	180	△59.7	51.5
経常利益	95	△79.0	185	△58.6	51.4
親会社に帰属する 当期(四半期)純利益	68	△76.0	115	△58.9	60.0

平成27年11月12日に公表した「第2四半期連結業績予想と実績との差異・通期連結業績予想の修正、及び役員報酬減額に関するお知らせ」に記載しております取組の状況については以下の通りとなっております。

①売掛金に対する貸倒引当金の積増し計上

滞留債権回収、及び売掛金管理プロセス整備により貸倒引当金積増し抑制・取崩に取り組んでおります

②リース債権に対する貸倒引当金の計上

回収状況に応じ債権残高を慎重且つ保守的に検討し貸倒引当金の見直しに取り組んでおります

③液状化特約補償のリスク評価による引当処理

第2四半期において自家保有リスク51百万円の引当処理を行いました。当第3四半期において出再により18百万円の引当金戻し処理を行っております

④役員報酬の減額

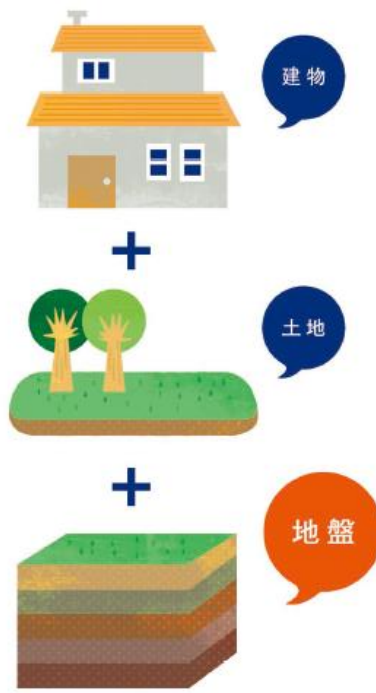
代表取締役：月額報酬の50%の減額を平成27年11月より6ヶ月間

代表取締役以外の役員：月額報酬の20%の減額を平成27年11月より6ヶ月間

■内部統制について

前期において元経理部長が不正行為を働く事実、及び専門知識を有した人材の不足による内部統制の不備がありましたが、債権管理を経理部から他部署へ移管し相互牽制による不正防止と専門知識を有した経理部人員の補強により不備を改善しております。

■当資料取り扱い上のご注意



本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は当社が2016年2月12日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があります。

家を選ぶことは「地盤」を選ぶこと